

【参考資料1】寄せられた意見一覧（さかポス、タウンミーティング、その他）

Q1 グランドデザイン、私ならこうする

書き込み内容

酒田は学びの選択肢(専門学校、大学の学部等々)が限られており、進学で都市部に出てそのまま就職となるのは自然なように感じます。中町を暮らしやすい場所にすることや起業を推進すると同時に、教育に力を入れることのできる環境や学生が学習の為に内外から集まる環境があればいいの…と思います。

中町の一方通行を無くす。できれば可能な所に道路にパーキングメーターを付ける。

中心部の地価が下がっているという事は、空き店舗を買う・借り易くなっていると言えます。物件所有者の世代交代も進んでおり、条件も以前より緩和されていると思います。これまで地域にない新しい事業創発を行うプログラムを実施し、実践する場にしていける事で、賑わいを創出できる可能性があります。

空き店舗を「小商い」や「プチ起業」向けにリノベーションし、月単位で借りられるシェアショップやポップアップスペースに。ハンドメイド作家/焼き菓子販売/ネイル・小規模美容業など、家庭と両立しやすい初期投資が少なく挑戦でき、まちに彩りと人の流れが生まれる

今更何を言っているんだという印象を受ける。店を畳めば人も離れる。「職人」など既に四散している。中町～台町の強みは「食文化」なのでは。新規店舗から老舗まで揃っているのはこのジャンルが随一。「たびのホテルit酒田」を中心に『立ち寄って美味しい町』を創生、整備。

【商店街からの意見】 これまでも市はさまざまな計画をつくってきたが、そこで終わっている感覚がある。内容を絞っても構わない、小さいことからでいいので、実際の取り組みを進めるようにお願いしたい

中町をハレの場・商業の場から新たな機能に完全に移行するのではなく、ハレの場・商業の場を中町のDNAとして残しつつ現代に即した新たな中町になって欲しい。中通り商店街は酒田大火の復興の象徴としてある程度残して欲しい。

グリーンハウスの復活！映画をフックにした周辺の活性化、空き物件での小商い。若者が住まうことができる仕掛けも欲しい。周辺の駐車料金無料も実現できると良いなと

会社とマンションがあれば昼休みひとが出歩くので見かけ上賑わいと人通りがある町になります。地元民が集まる商業地にするなら車社会なので大きな駐車場を作って車の出入りを重視するべきです。バス停やタクシープールもあれば観光客も訪れやすいと思いますがおそらく地元民はバスは使わないです。

・中通り商店街が空き地が多い現状 →1人暮らしの高齢者と若者、学生と一緒に暮らす シェアハウスがあれば嬉しい。 ・人口は増えないと思うので、関係人口を仕掛け →酒田のファンを増やして欲しい

酒田の魅力を探るイベントを企画（子供を対象にしたイベント） →実際に地域で活躍している人にインタビューを行い、snsなどでその様子を発信する。例）酒田市長、酒田舞娘、黒森歌舞伎、酒田の食を支えている方など、をインタビュー

中町を「暮らす・働く・学ぶ・支える」が一体化した「まちなかりビング」に再生します。朝は高齢者が散歩や買い物で立ち寄り、昼は学生や若者が学びや起業で滞在し、夕方は地域全体で交流や見守りが生まれる。世代が交差する日常動線を重ねることで、人が循環し続ける“生きたまち”を育てます。

■コンセプト：まちなかりビング×世代循環 ■導線 朝：高齢者→散歩で公園・朝市→カフェー服 昼：若者→シェアオフィスや商店街活動 夕：親世代→子どもと広場・学習塾 夜：世代交流イベント（食・文化・学び） ■手段：空き店舗を利用し「暮らす・働く・憩う」を集約、回遊性を実現

書き込み内容

こうゆう事考えるのいいと思います！そして、こうゆう事を考える機会をあたえてもらってありがとうございます！ワクワクしますね！ アイディア浮かんだら投稿させていただきます！

追記。デザインも重要だろうが現状の把握も最重要。古い建物で、ここ数年漏電による事故、火災が発生しまくっている。旧パイレーツビル、健康プラザ。本日28日の旧ブルースヒロも漏電が原因ではとの話がある。「今まで酒田大火の二の舞が起きていないほうが奇跡」と言えるのでは。早く対処を。

【不動産事業者様からの意見】 ・新井田川沿い、市役所、飲食店の多い中町は距離が近く官民連携で計画を練ればいまいちになるのでは ・どのようなまちにしていけるか、長期的視点に立った計画が必須

【不動産事業者様からの意見】 ・居住人口が増えることで、地域全体で消費や投資に使える資金が増える ・シャッターが下りている建物も、居住している例が多い。その方々にとっては、中町は暮らす場所。意見を聴き、理解することが重要

【不動産事業者様からの意見】 ・中町エリア再生のためには、駐車場問題の解決と、住居エリアの確定が必須

【不動産事業者様からの意見・情報など】 ・旧清水屋の建物の状態を考えるとリノベーションでの活用も難しいのでは ・いろは蔵パークができて、人の流れが変わった。いろは蔵から港まで歩いて移動する観光客も多い ・首都圏から酒田に来る人は、食に魅力を感じている

○夏も冬も遊べる室内遊技場 ○ファミリーが利用しやすい飲食店（チャレンジ企画も） ○趣味の展示スペースや、レンタルルームなど老若男女集まる空間 ○子育て関連施設をまとめる（健康センター・交流ひろば・にこっと・ファミサポ・マザーズハローワークなど。） ○連結した大規模駐車場は必須！

酒田に重要なのは風と雪対策です。無電柱化の進んでいる中町エリア全体に防風目的の街路樹を植えるのはいかがでしょう。火災対策も入念に取った上で。また地盤の状態や予算によりますが地下通路を新設すれば住民も観光客も吹雪に晒されず移動できます。

【商店街からの意見】 ・中町エリアの再生、やるなら効果の見えるものに ・まちづくりに取り組むに当たり、ニーズ調査が必要だと思う ・中心市街地活性化計画に基づく再開発をやってほしい

【商店街からの意見】 ・商店街単独ではハードの更新は難しい。デベロッパー（開発業者）など核になる人がいて、それをサポートするような形が望ましい ・商店街同士連携することが必要

【商店街からの情報】 ・「中町に来たことがない」という若い人（20代～30代）もいる。

書き込み内容
まずは市民が使いたいと思える施設を中町集結させて、健康を考えた施設（ジムやお年寄りの体を動かせる場所）、子どもの遊び場（大型遊戯施設）、学生の勉強スペース、さまざまな名体験が出来る場所をつくってほしい。
先程投稿したさまざまな体験が出来る場所をつくって欲しいというのは、市民も観光客も楽しめる体験が出来る場所です。例えば、舞妓さん体験、木のコースターやアクセサリー作り、酒田市ならではのアプリケを貼って作るTシャツやポーチ作り、などなど市民も観光客もたのしめるものを取り入れて欲しい。
中町は酒田祭りのメイン会場でもあるので、祭りのシンボルとして獅子頭のほかに山車も飾っておける場所があったら良い。
店舗兼住宅の空き店舗を活用するため、共同住宅を整備して店舗兼住宅まるごと賃貸や店舗+賃貸を含むマンションへの建替えにより、魅力ある店舗の誘致、新規出店を促す。
中町に専門学校等の、学校があれば良いと思う。
清水屋跡地を現況（既存不適格）のまま暫定活用する 耐震改修のコストを回避。大規模にリノベするか、壊すかではなく”今のまま使えないか”を模索し、”段階的に開発”していく。 ※暫定活用の案（例）を画像で添付します ※ [アイデアの詳細] 内の関連リンクから構想の詳細を共有します
中央公園を駐車場として活用しましょう。 イベントの時以外はほぼ使われていないと思われるので、もったいないです。 プレハブ/コンテナ建築の用地としても有用だと思います。
旧マリン5清水屋を解体し、低層階が公共スペースや店舗、高層階が賃貸・分譲のマンションを建てて、店舗誘致や移住促進、居住人口増を図る。
■大規模駐車場問題 中町中心街は、車社会以前の街づくりを反映しており、現代のニーズに合った大規模な平置き無料駐車場の整備が急務です。駐車場問題が解決しない限り、どんなに魅力的な店舗や取り組みがあっても、来客数や人の流れは増えず、街全体の活力が先細りすることは明らかです。
清水屋跡地も立体駐車場も含め耐震改修しても建物寿命のわずかな先延ばしにしか見えない。であれば今のうちに取り壊し平屋か二階建て位の時代にあったコンパクトな建物に変え、一階は中町に無くて困っている人も多いスーパーと駐車場、二階は居住スペースや若い方がチャレンジ出来るお店とか。
本間家旧本邸などの歴史的建造物近辺がそれに連なる雰囲気などが一切なく、本邸横の石畳を歩いても空き家や駐車場、一般のお店や住宅などが並ぶだけで趣きが一切ない。今後も酒田を担う本間家旧本邸や燈屋などは近隣も含めて雰囲気を統一したり建物や空間で観光や訪れた人を誘導出来る街づくりを希望。
若者が外に遊びに行くのではなくかつての中心街がそうだったような場所、「高校生デートできるまち」をコンセプトに出来るくらい目指してほしい。高校生や中学生は中町なら車の送りがなくとも遊べる地域だと言うが、今の中町にそれに似合う場所はない。
ハザードマップを見ても酒田中心や中町は安心感があるのを生かした新たな居住施設や大型病院を作る計画があっても良いと思う。これから水害多発による街の機能低下を考えれば中町エリアは災害に強くコンパクトに住めるモデルタウンの可能性がある！
交通アクセスを良くした中町に、老朽化する酒田警察署（昭和53年築）を新築移転又は一部機能移転させて運転免許更新・返納などの利便を図り、中町へ人が来るきっかけを作る。
市内には新しい賃貸物件が少ないそうなので、中町に新しいマンションやアパートを作って需要を取り込む。
中町にある平置き駐車場は、自走式多段駐車場への転換を促進し、収容力増強と屋根部分による降雨、降雪時の利用をし易くする。

書き込み内容
新しい建物をつくるなら壊すことも考えて、縦に伸ばすのではなく横に広げる低層で若い人がチャレンジしやすい家賃の商業地域にしてほしい。
いろんな国の料理が食べられるお店が集まった飲食街があっても面白いかも。
旧マリン5清水屋を耐震補強&リノベーションして、市内に点在する公共施設（税務署、法務局、ハローワーク、身障者センター、市民健康センター等）を集める。また低層階にイベントスペース、子ども広場、小型店舗、100円ショップなどを設けて、平日、休日共に人が来る拠点化を図る。
庄内米歴史資料館は、米俵を担げるとか面白い観光資源なので、お米の食べ比べができるなど、より体験型にリニューアルして再開すると良い。
清水屋には老人ホームを上階に持ってきて、下階は子供や若い人が集まる塾、学童、コンビニなどを誘致。店舗と民泊を一緒にしたほかの都市の例があるが、中町商店街も民泊や新しい定住者用に整える。中町の歴史を踏まえて、そこに手を加えて昔から住んでいる人も楽しめて、発展性あるまちづくりがいい。
新幹線が通っていない、昔ながらの町があって程よい不便さがある陸の孤島感が酒田の良さだと思っています。頑張って都会化するのではなくて、あくまでも住んでいる人が住みやすい街を作っていけたらいいな。
もっとスピード感あるまちづくりをしないといけないと思う。ここに出ている良い案は来年の策定を待つまでもなく実行していかないと、どんどん空洞化していくばかり。何を待っているのかわからない。
人口が減る中で外国人を含めた訪問人数の増加が市の活性化にとって現実的な方向性だと思います。そのためには観光地として魅力的に映ることが必須で観光資源が点在する日和山、山居倉庫周辺に加えてその中間地点である中町も含めて観光客視点での開発が必要ではないかと思います。
テラス席を活用して見た目から活気を作っていくべきなのは せっかくなら中町をまた歩行者専用にしてほしいくらいだ。そのためには車がなくても中心地に気軽に来れる仕組みが必要だろう。あとはお金を下さずとも座れる場所は欲しい
住みやすい町づくりの一環として、映画館や、大型商業施設など若者が欲しいと思う店を増やして欲しい！クルーズ船から観光客は来たけど、中町の閑散としたシャッター街を見てそんなに面白くないと思っている人の声も聞きます。やはり中町に住みたい、住める環境を作ることが優先かと思います。観光だけで町がにぎわうのはとても難しいです。

Ｑ２ 中町エリアでの働き方のアイデア

書き込み内容
中町といえば飲み屋！なので仕事終わりに飲みに行けるような働き方がよい 会社で費用を全額負担にして、飲み屋の活性化にも繋げる
秋田市のようにIT企業を誘致する。
オフィス誘致を進め、昼間人口が増えることで、夜営業しかしていない飲食店が昼営業を行い、昼夜の賑わいを創出することができるかもしれないですね。
デザイン・ものづくり・ライティング等 住居+仕事場が一体化した施設（町家リノベ型など） 補助金による家賃サポート 地元商店や行政とのコラボ案件の提供 起業家同士のネットワークづくり 地元根差しながら“都会に依存しない働き方”を実現、酒田の風土・文化と融合したクリエイティブな仕事

書き込み内容

秋田市のようにIT企業を誘致する。

中町といえば飲み屋！ なので仕事終わりに飲みに行けるような働き方がよい会社で費用を全額負担にして、飲み屋の活性化にも繋げる

デザイン・ものづくり・ライティング等

住居＋仕事場が一体化した施設（町家リノベーション型など）、補助金による家賃サポート
地元商店や行政とのコラボ案件の提供、起業家同士のネットワークづくり

地元根差しながら“都会に依存しない働き方”を実現、酒田の風土・文化と融合したクリエイティブな仕事

オフィス誘致を進め、昼間人口が増えることで、夜営業しかしていない飲食店が昼営業を行い、昼夜の賑わいを創出することができるかもしれないですね。

【商店街からの意見】

事務所を求めている事業者はいる。まちなかを歩いて事務所を探しているようだ

起業も素晴らしいですが、就職する若者は給料がよく都会的な仕事に憧れるものです。若い力を求めるなら都内に本社がある会社のサテライトオフィスがあればよいとおもいます。

■コンセプト：シニア経験 × 若者技術

■導線：午前：シニア伝統工芸・地域史ワークショップ 午後：若者ICT・デザイン・EC支援で商品化

夕方：住民や観光客に販売・発表会

■手段・空き店舗「共創ワークラボ」化 ・高齢者若者の役割分担 ・売上を店舗維持やシェア運営、持続性確保

空き店舗をリノベし「世代共創ワークプレイス」として整備。若者はリモートや創業拠点、高齢者は伝統技術や経験を活かした講座や商品開発に参加。日中は観光客や市民が交流できるオープンイベントを開催し、夕方には地域支援や子ども学習サポートも行う。働くことがそのまま地域を支える仕組みとする。

【商店街からの意見】

・価格競争に巻き込まれにくい、サブカルチャー系の店舗が中町に合っていると思う。

・最近では、古きを扱う店など、個性を重視したお店が入っている。

・飲食店の出店ニーズはあるが、貸す側の都合（飲食店はダメなど）や、水回りなど構造の問題で断られるケースが多い。

中町の商店街や近隣は市の方が言われている通り、テナポ居住型なのでどうしても借りる条件に制限や家賃のムラがある。いっそ市が買い取り、貸店舗として若い方が借りやすい物に作り直して貸し出してほしい。一店舗だけ良い店がぼつんと出ても今の中町の集客力ではとても商売にはならない様に見える。

中町は外からの集客が多いイメージなので他の方の意見の様にビジネスオフィスが入る様になれば昼間人口も増え、夜のお店だけではない価値も高くなるのではないかと？

中町に限らないが、インターネットを活用して地元の食材、食品などを国内・海外に売りだしていくためのサポートが必要かも。

街の一角(空スペース)にいろいろな商品（ホビー商品、ハンドメイド雑貨など）を展示販売するレンタル

ショーケースが並んでいるとギャラリースペースも兼ねて面白いと思う。なお、中古品を仕入れる出品者は古物商許可が必要になる。

地域課題に対する起業セミナー、ビジネスコンテストを実施して、優秀なプランに資金支援や中通り商店街の空き店舗を提供する。

計画コンセプト 「創る・活かす・集める 新しい中町の力」 サンロクを中心に中町にある中通り商店街や中町庁舎などの既存の施設・商店街を活用して企業の誘致や新しく創業することができる環境に整える。また、ハローワーク酒田や警察署など中心市街地外にある機能を中町庁舎を中心に移転させる。

中通り商店街のシャッター店舗を開けるように、テナントに出したら税制優遇をするなどしないと誰もシャッターを開けない。もしくは市で買い取り、中通りコミセンを作り人々が利用できるようにしてほしい。コミセンの半分は学生の勉強スペースに。

Q3 中町エリアでの暮らしのアイデア

書き込み内容

すべてが揃う街にしたい 現状だとスーパーがないので早急に清水屋跡地にスーパーを建設すべし

バスを使って生活できるような環境とインフラ。あと中町にはアパートが少ない。リノベも物件情報が無い。学校も遠いし、これくらいないと、他の地域から人（特に子育て世代）は移り住まないと思う。

市内事業所の若手社員が共同で暮らすシェアハウスがあると、それぞれの事業との連携など新しいアイデアが生まれるかもしれないですね。

まちなか暮らし体験住宅 空き家や町家をリノベーションし、学生が短期的にまちに住みながら学ぶ・働く体験ができる仕組み

【商店街からの意見】 中町に最近できたアパートに住む人たちは車移動が多いようだ

【商店街からの意見】 中町に住む人が増えることの影響は大きい。学生が増えることが一番。学生向けに家賃3万円～4万円でシェアハウスなどができればいいが、家賃は簡単に安くできないのが問題（固定資産税が影響する）

高齢者が住みやすい、弱者が排除されないまちづくりをして欲しい。介護を必要としない、元気な高齢者の居住エリアを作る。 ・高齢者向け賃貸住宅を作る。家賃は補助金制度を使って安くする。 ・一部商店街を解体。山居倉庫をイメージした、平家賃貸住宅を建設。戸建てが望ましいが、長屋風でも良い。

暮らすなら店を増やすために空き店舗をリノベーションまたは解体をしてスーパーや個人商店を増やしたらいいと思う。そして中町エリアは空きビルも増えていると思うのでそこを高齢者が運動や会話ができる施設、1階にはちょっとした店を作れば高齢者も元気になるし店も増える、

宅配センターがあれば車がなくても通販で買い物の不便が減ります。バスは病院行きの便が多いと高齢者も安心して住みやすいです。ただし逆に言えば車に乗ればバスを必要とせず高齢になって車を手放してから乗り方を知る市民も多いです。普及させるには小学生のうちからかと。

上下階や隣接した空き家を活用し「暮らす＋支える」がセットになったコリビング住宅を展開。若者・移住者はテレワークや学び場、高齢者は日常の拠点として利用。1階は共用の食堂や交流ラウンジ、2階は住居にして、世代の距離を縮める設計。生活動線上に自然な助け合いが生まれる暮らしを提案します。

■コンセプト：「共に住み、共に支える」 ■導線設計 朝：高齢者→コリビング内共同朝食、若者→テレワーク準備 昼：若者→リモートワーク、高齢者→昼食や見守り 夜：世代合同夕食、役割分担 ■手段 ・空き家改修「職住一体型住宅」 ・高齢者安心、若者低コスト利用 ・サブスク型生活費シェア

【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・中町エリア、賃貸の需要はある ・単身赴任者や学生向けに、家具付き賃貸物件が人気 ・洋上風力の関連で今後賃貸の需要は高まると予想 ・学生向け賃貸など、家賃4万円を超えると厳しい

【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・中通りのアーケードは共有財産。建物から伸びた鉄骨で保持しているので、その建物を壊す場合は、別途補強を施す必要がある ・駐車場需要は高い ・中古住宅の価値・需要が高まっている（全市的に） ・更地、空き家それぞれ需要はある

書き込み内容
<p>【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・事業者からの出店ニーズはあるが、入居可能な物件が少ない（入れる物件は埋まっている） ・準防火地区の建築コストは他の2割増し。建築を阻害する要因の一つ ・長屋造りの物件は、全体で建て替えまたは改修しないとイケない</p>
<p>【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・建設が予定されているホテルの周辺では、土地、建物ともに動きが見られる ・老朽化した建物を解体するとき、アスベストの問題が出てくると考えられる ・店舗兼住宅は、リノベーションも含め構造的に難しい面が多い ・活用可能な空き家は少ない</p>
<p>【不動産事業者様より提供いただいた情報】 ・解体費用を含めた建設コストが高騰し、新築は採算が合わない。リフォームが中心 ・中心部は人口減少が顕著。郊外に住居を求める傾向が強い</p>
<p>公共交通機関の拠点、ターミナルを中町とするならば広めのバスの待合所は必須かと思われます。冬場に外のバス停で待ちぼうけるのはからだにこたえます。</p>
<p>【商店街からの情報】 ・中町に暮らす人の多くは70代～80代であるようだ</p>
<p>理想の暮らす場所は、安全で交通アクセスが良く、商業施設や医療施設、教育施設が充実している街。美味しい飲食店、おしゃれなお店、安くて品揃えの良いお店のある賑やかな商店街。他のエリア（スーパー、病院、体育館、ホームセンター、美術館、駅、空港等）にも行き易い街。</p>
<p>中町に100円ショップがあるだけで人の流れはできると思う。また大通り側にもコンビニがあると車なしでも暮らし易い街になると思う。 但し、駐車場がないと商売的には成り立たないと思われる。</p>
<p>中町にはスーパーが無いので、コンビニの利便性と生鮮食品やお惣菜を扱うスーパーを組み合わせた都市型小型店舗（例：マルエツプチ、まいばすけっと、ミニコープ等）があると良い。高齢者にとって少し離れたスーパーに行くのも大変なはずなので。</p>
<p>酒田大火以降に作られた古い空きビルや廃墟はこれからも増えるだろうし、再利用しようにも老朽化などによりコストに似合わない補強やリノベーションをしなければならぬならいっそ市側が大きな補助を出して解体して欲しい。解体費コストはこれからも上がり続けるだろうから今が一番安いはず。</p>
<p>中町を変えるならその中に酒田祭りの時にも大きく寄与出来る街の大通りやイベントスペース・駐車場などを設計してほしい。区役所前の通りの道路拡張も一向に進まないし、車での移動や駐車をもっと加味しての街づくりが必要かと思えます。</p>
<p>酒田の冬を乗り切る施設や街づくり設計をしてほしい。</p>
<p>中町に酒田祭囃子の各グループが練習する室内や屋外練習場所があっても良いのでは？街にうっすらと祭囃子が聞こえる雰囲気などがあってもいい。せっかくの横笛や太鼓が年に一回しかお披露目がないのはもったいない。</p>

書き込み内容
<p>日本各地の災害や犯罪の増加、首都圏にしても暮らしにくさが近年著しい。そうした中で酒田出身者が帰りたいな、戻るのが有りかと思う街づくりが必要で、その為にも庄内の内需を伸ばし、住みやすく暮らしやすいエリアにする為にはリノベではなく古い空きビル・空き家は解体が必要と考える。</p>
<p>リノベーションは残す価値がある建物には賛成だが、これからの暮らし方にそぐわない寿命の建物やアスベスト全盛期に作られた建物がより廃墟化すれば負の遺産として子供達の時代に引き継がれてしまう。計画的に早期取り壊しをお願いしたい。</p>
<p>建物はできる限りリファイニングなど建物の寿命を延ばし、将来解体するときの効率化やリスクの軽減をした方がいい。 酒田大火の復興の象徴としてある程度建物は残りつつ現代の生活にあった都市空間を生み出したて欲しい</p>

Q 4 居心地がいい場所のアイデア

書き込み内容
<p>とにかく若い人を呼び込みたい そのためには有名インフルエンサーを移住させて活性化させるべし</p>
<p>POP—UP店舗でもいいので無料で出店できるようにする。</p>
<p>「常連」がいて、店主と話しながらお茶が出て来て…そういうお店だと、時間がいくらあっても足りないし、買うつもりなくても通いたくなってしまふ。趣味系のお店が集まるエリア、建物なんかがあれば、市民はもちろん遠くからも人が来てくれる要因になると思う。</p>
<p>読書カフェの設置 余白とリラックスできる空間づくり 無料Wi-Fi・電源あり／読書席 地元高校・大学との本棚 コラボ（おすすめ選書） 勉強、ひとり時間、語らいの場に 商業的でない“静かな居場所”の提供</p>
<p>【商店街からの意見】 中町モールの噴水には夏の時期、自然と人が集まる。周りにイスやテーブルを置くと、もっと過ごしやすい空間になるだろう</p>
<p>【商店街からの意見】 中町モールを市道でなくすることで、イベントなどにもっと便利になる</p>
<p>みんなが集えるような公衆浴場があればいいと思う。ゆったり、ゆったり、お友達や家族と語らうのも良い。風呂上がり中町商店街の美味しいジェラード食べたり、ラーメン食べたりセットで楽しめる。</p>
<p>「狙ってつくる」のでなく「なっていく」感じだといいなぁと感じてます！でも、マーケティングとかデザインのプロとか考えればそうゆうのも「ねらって」できんのかなー？ いそがないほうがいいと思う！なんとなく！</p>

書き込み内容

みんなが集えるような公衆浴場があればいいと思う。ゆったり、ゆったり、お友達や家族と語らうのも良い。風呂上がり中町商店街の美味しいジェラード食べたり、ラーメン食べたりセットで楽しめる。

夏の噴水の時期限定に噴水のそばにブレバプの店(アイスやかき氷、その他ジュースや食べ物が食べられる)簡易的な店を作るそして周辺にテーブルやイスを設置したらそこへ親子や観光客が来ると思う！価格はたくさん気軽に来れるようになるべく安めに！店舗は酒田の有名な店や中町の店がいいと思います！

日常での用事がある場所になれば行きます。役所、病院、買い物、出勤、今日の夕飯など。また帰りやすければなお良いです。代行タクシーの人手不足で夜中町から帰るのはひと苦労です。

学生は休日や放課後に中町に行く用事がないので大学関連施設を設置するか、アルバイトの推奨をすると寄るはずです。

■コンセプト：「時間帯で顔が変わる縁側テラス」

■導線 朝：高齢者が集う 昼：若者がWi-Fiで勉強・仕事 午後：世代毎の休憩 夜：各種イベント

■実現手段

・空き店舗「時間貸しカフェ+サロン」 ・運営は地域ボランティア+学生インターン ・地産食材を軽食提供一地産地消のハブ

かつての喫茶店のように世代が気軽に集える「縁側テラスカフェ」創設。朝は高齢者の井戸端、昼は学生や若者のワーク・読書スペース、午後は子連れの親世代、夜は世代混在の交流会。用途を時間帯で変化させ、買い物や通学・通院のついでに立ち寄れる場所にすることで、中町を“第二の居間”として再生。

夏は暑さ、冬は寒さを避けられるランドマークが見えるカフェ（スタバやタリーズのような）で好きな音楽を聴いたり、雑誌を読んだりしてゆっくり過ごしたい。

また近隣美術館のギャラリー（出張スペース）を作って、市民が足を運んだり休んだりすることができる場所があると良い。

酒田には市街地に温泉がない。なので中町に大きい温泉施設があれば中心地に人が集まるのではないかな？温泉ならば夏冬関係なく人は集まる施設かと思います。併設でイベントスペースや飲食などもあればより多くの人利用出来る予感がします。

歩道にちょっと休める悪天候でも座面が汚れないベンチやテーブルがあると学生や散歩する高齢者などが休める。

スーパーがほしい同時に郊外にはあるが中心街にないホームセンターは必要では？徒歩で行けるので便利だと思ふ。

中央公園に、日差し、雨、雪を避ける大屋根とベンチを設置し、いつでも使える休息場所やイベントできる空間に変える。

酒田市の中心部に、子供も大人も楽しめる施設がほしい。例えば、今は暑さ、クマなど外で遊ぶのにも危険が多い為、天気にも左右されずに、遊べる東北最大級室内遊具場があれば、酒田市民以外でも、行きたい！楽しそう！となる。祖父母も一緒に来て、くつろげるソファ等あったら、そこで交流もできる。

商店街にぶら下がる風化してポロポロのれんは外した方が良くと思います。使えるものは店内に入れるなどして対応とか。商店街を通る度気になり、さびし気持ちになります。

毎週日曜祝日午後（晴天時）は中通り商店街を歩行者天国として中町に人が集まるきっかけを作る。日和山公園や山居倉庫など散歩する人が休める場所があると良い。

みんながが遊べる場所を作ることで、子供と大人どちらも居心地の良い場所になると考えた。

自分が考える清水屋利用法案

施設名 「モシェア/Moshare」 施設のコンセプト ノスタルジーとイノベーションの融合・買い物の場のアップデート

施設の内容 マリーン5清水屋の良い点を活かして、新たなテナントを加え、市民や観光でやってきた人が集まる モシェア…もしえの一+シェア

Q5 まちなかグランドデザイン（素案）を読んでの意見

書き込み内容

中町の商店街を活用して企業チャレンジをする環境を整える案が良かった。 ・清水屋の暫定利用して開発してゆくことも一理ある。改善点 ・大学生が暮らすとしても、公益大や産業短大からは遠い。提案 るんるんバスの大学線の路線と停留所の見直しを入れて欲しい

4頁【中心市街地5つのエリアの特徴】 「利用者」の記載レベルが揃っていないので、居住形態で「居住者」「移住者（新規居住者）」「観光客（非居住者）」、年齢層で「高齢者」「成人・壮年層」「若者(大学生、若手社会人)」「中高生」「子供」等で分類すると分かりやすい。

17頁 6.目指すまちの姿 中町に都市機能を集約して利便性を上げる取り組みは良いと思う。「コンパクト・プラス・ネットワーク」「ウォークアブルシティ」が何か注釈を追記するとわかりやすい。なお、他都市と差別化の上でも「市民にとっての”ハレの場”」の視点を考慮することも重要と考える。

4頁【中心市街地5つのエリアの特徴】 「山居倉庫周辺エリア」にも宿泊施設はある。また「〇〇作成」等の出典元を記載した方が良い。

具体的な施策にあたっては、メリットやデメリット、進捗状況を公開して透明性を確保しながら、時には公開プレゼンテーションや意見交換なども実施して地域住民の意見が反映されると良い。

目指す街の姿② 外来の武士（徳尼公の遺臣）が地域の中核として三十六人衆となった様に、外部の有望な人材を酒田に呼び込んで又は呼び戻して人材を集め、事業化等を図る取り組みがあっても良いと思う。

山居倉庫の使い方で、岸洋子さんと中島さんゆかりのゴジラと吉野弘さんの記念館スペースに使ってみては、どうでしょう。世界的にゴジラは、有名ですし、酒田ゆかりの岸洋子さんと吉野弘さんは、全国的に有名ですね。ホテルに活用すると、せっかく、国の文化財が、台無しになると思いますよ。

中町商店街をシェアハウスでなく、市外の若者・学生が安く泊まれるゲストハウスにした方が良くと感じた。ゲストハウスには、商店街に集まった人が無料で休憩できるスペースも兼ねて、若者が若者を呼ぶ循環が生まれるといい。

中町商店街でのチャレンジショップの案がとてもいいと思った。サンロクで創業や新規事業の相談受付→中町商店街で小さくやってみるという流れができる。

Q6 まちなかグランドデザイン（案）を読んでの意見

書き込み内容

ウォークアブルシティは分かるが結果冬の気候を考えれば結果、車になる事は避けられないのではとも思う。 冬季の移動も考えてのバランスは大事。

中心市街地（中町エリア）の現状把握のため、エリア内の空きビル・空き店舗・空き家・空地・駐車場の分布を示す地図があれば良かった。これらの情報を地図上に可視化することで課題が共有され、空洞化箇所や逆にポテンシャルのある場所が明確になり、今後の施策検討に役立つ基礎資料にもなる。